

日本癌治療学会／ファイザー公募型医学教育プロジェクト助成  
「がん患者との医療コミュニケーションの向上や Shared Decision Making が  
行われる環境整備を促す医療者に対する教育プロジェクト」  
採択事業

## がん患者と医療者のコミュニケーションツールを活用した 支持療法アカデミック・ディテールリング教育プロジェクト

2022年1月～2024年12月

一般社団法人日本がんサポーターティブケア学会

Japanese Association of Supportive Care in Cancer (JASCC)

プロジェクト代表者：佐伯俊昭（理事長）

プロジェクト実施者：関根郁夫（新規医療情報委員会委員長）

小茂田昌代（同 副委員長）

## 【プロジェクト概要】

### I. 背景

アカデミック・ディテリングとは、コマーシャルベースではない、公正中立な臨床と科学のエビデンスに基づく医薬品情報を医師に face to face で提供することで、処方最適化する活動であり、海外では薬剤師がアカデミック・ディテラーとして貢献している。

近年、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤など、がん薬物治療の発展により生存期間が延長したため、治療の継続には副作用をコントロールする最適な「支持療法」実施が、がん薬物療法における重要なテーマとなっている。

一方、電子患者日誌 (Electronic patient-reported outcome : ePRO) は患者のデータ入手の目的だけでなく、患者自身にもセルフケア意識を向上させるメリットがある患者と医療者のコミュニケーションツールとして期待されている。

2020 年度の診療報酬改定では、保険薬局と医療機関の地域連携を強化する加算が新設された。がん治療中の患者が、ePRO に日々自宅での症状を入力し、その情報を病院と薬局で共有できれば、薬剤師による継続的なケアとタイムリーな支持療法提案につながると考える。

### II. 目的

本プロジェクト (図1) は、以下が実践できることで、薬剤師のプラクティス・ギャップ改善を図り、医師の処方を支援できる薬剤師の養成を目的とする。

- ・医師に face to face で支持療法アカデミック・ディテリングが実践できる。
- ・地域連携により患者に継続的な薬学的管理を提供し、最適な支持療法を提案できる。

### III. 方法

本プロジェクトは東京理科大学アカデミック・ディテリング・データベース部門が企画しているアカデミック・ディテラー養成プログラムの発展型として、支持医療に視点を当て、腫瘍内科医師と臨床薬剤師だけでなく、基礎薬学系の有機化学、生物薬剤学、薬理学研究者とさらに医療コミュニケーション研究者と、多岐にわたる講師陣の協力を得る。臨床のエビデンスだけでなく、医薬品の基礎薬学的な違いにも焦点を当てたアカデミック・ディテリングが実践できるワークショップを行う。

(研修プログラム)

- I. 支持療法のアカデミック・ディテリングを習得するプログラム
- II. アカデミック・ディテリングのための教材を開発するプログラム
- III. アカデミック・ディテリングに基づく処方提案スキルを習得するプログラム

## がん患者と医療者のコミュニケーションツールを活用した 支持療法アカデミック・ディテリング教育プロジェクト

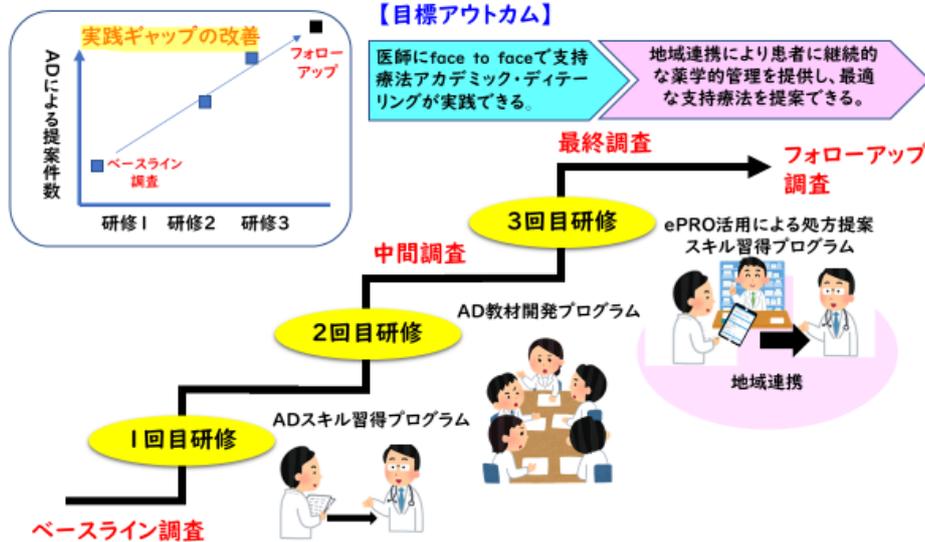


図1 プロジェクト・イメージ

(研修の効果を評価するプログラム)

＜ワークショップに参加した薬剤師のプラクティス・ギャップ改善効果に関する研究＞

対象者：本プロジェクトが実施する全コースのワークショップを受講した薬剤師

目的：本ワークショップ参加によってもたらされる、対象者による医師への face to face の行動変化を数値化することで、プラクティス・ギャップ改善効果を測る。

主要評価項目：対象者が医師に受け入れられた処方提案数（プロジェクト参加前後）

副次評価項目：対象者による総処方提案数（ePRO 活用件数）、医師への face to face の情報提供回数、情報提供に要した時間（プロジェクト参加前後）

予定研究対象者数：全てのワークショップに参加した薬剤師 80 人程度

(研修プログラムのタイムライン)

	年 2022												年 2023												年 2024																																															
	月 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																				
1-I	第1回プログラム委員会											第1回WS																																																												
1-II												第2回プログラム委員会											第2回WS																																																	
1-III																							第3回プログラム委員会											第3回WS																																						
2	評価研究プロトコル作成												ベースライン調査												中間調査												最終調査												フォローアップ調査												統計解析と論文化											
学会発表予定													日本癌治療学会 第60回学術集会 2022年10月(群馬)												第8回日本がんサポーター ケア学会 2023年(未定)												日本癌治療学会 第62回学術集会 2024年10月(福岡)																																			

WS:ワークショップ

図2. プロジェクトのタイムライン

#### IV. 研究組織

##### 一般社団法人日本がんサポートケア学会 (JASCC) プロジェクトメンバー

プロジェクト代表者：佐伯俊昭 (JASCC 理事長)

プロジェクト実施者：関根郁夫、小茂田昌代 (JASCC 新規医療情報委員会委員長・副委員長)

プロジェクト協力者：渡邊清高 (JASCC 教育委員会委員長)

中島貴子 (JASCCPRO ワーキング長)

プロジェクト事務局：JASCC 学会事務局

##### パートナーとなる団体 (施設)

施設名称：東京理科大学研究推進機構総合研究院アカデミック・ディテールリング・データベース部門 (2021 年度で部門終了のため、2022 年度より一般社団法人日本アカデミック・ディテールリング研究会が部門活動を継承)

役割： アカデミック・ディテールリング資材開発や資材提供